

伊號第一百六十一番水艦計画要領書

(表紙共十枚)

90 11-10-26

伊號第百六十一潜水艦計畫要領書

海軍艦政本部

第一章 計畫方針

本艦型ハ有力ナル水雷兵装ヲ有シ最近ノ要求ニ對スル水上水中一般性能ヲ優良トラシムルト共ニ主力艦隊ニ隨伴シテ行動スル爲常備標準状態ニ於ケル速力ト耐波性ヲ重要視シ又滿載常備状態ニ於テハ航續力及之ニ關聯セル諸般ノ持久性ヲ大ニシテ長期ノ單獨行動ヲ可能トラシムル目的ヲ以テ計畫シタル海軍大型潜水艦ナリ

詳細計畫ニ當リテハ常ニ此方針ヲ基礎トシ當部ヨリ指示スル事項以外ニ於テモ諸構造及裝置ヲ其目的ニ適應セシムル様細心ノ注意ヲ拂ヒ上記性能ノ發揮ニ勉ムベシ

第二章 重要要目

(一) 重要寸法等

長 (垂線間)

九一、〇〇〇 米

(全長)

九七、七〇〇

(水線長) (常備標準状態ニ於テ)

九五、四〇〇

伊自空計(1)

幅 (最大)

七、八〇〇

深 平板龍骨下面ヨリ

(上部構造物上面迄)

六、七〇〇

(司令塔頂板上面迄)

八、二五〇

(艦橋天蓋上面迄)

一〇、二四〇

(バラストキール下面迄)

四、六〇〇

耐壓船殼直徑 (被板外)

五、五〇〇

同 右 全長

七、五五〇

平均吃水

常備標準状態ニ於テ「バラストキール」下面迄 四、八〇〇 米

排水量 (海水比重一、〇二五)

常備標準状態 一、六八〇 吨

浮航状態

上部構造物 浮力「タンク」其他非水防部ヲ含メザル場合

追テ通知ス

伊皇正討

同右ヲ含ミタル場合(艦ノ外型ニ對スルモノ) 追テ通知ス

復原力

常備標準状態 GM

同右ヨリ潜航シタル場合 BG

安全潜航深度

(二) 馬力

主機械

補助發電機

主電動機

(三) 速力(水上ノ場合ハ常備標準状態ニテ)

水上全力(補助發電機ヲ併用スル場合)

潜航全力(一時間放電率)

(四) 航續力

常備標準状態ニテ

滿載標準状態ニテ

米

〇、六〇〇

〇、一五〇

六〇〇〇〇

六〇〇〇馬力

二八〇、一キロワット

一、八〇〇馬力

二十節

八節二分ノ一

十節 四、七〇〇海里

十節 一〇、八〇〇海里

潜航状態ニテ

三節

六〇海里

(五) 燃料油及潤滑油搭載量

	常備	豫備	合計
燃料油	一〇〇吨	一三〇吨	二三〇吨
潤滑油	一二・	一六・	二八・

(六) 定員

士官

八名

兵員

五十名

計

五十八名

(七) 砲類兵器

(1) 四十五口径十一年式十二糎砲一門ヲ艦橋前部上部構造物上ニ裝備ス

(2) 留式七糎七機銃一門ヲ艦橋兩舷防波板上ニ固定セルC型銃架ニ移動

装着ス

(3) 三八式小銃六挺、陸式拳銃十四挺

(4) 彈藥數

伊吉空計(5)

品名	常備	満載
十二糎砲彈藥	五〇 <small>ケ</small>	一〇〇 <small>ケ</small>
七糎七機銃彈藥	二四〇〇	二四〇〇
小銃彈藥	一八〇〇	一八〇〇
陸式拳銃彈藥	一六八〇	一六八〇

ハ八十糎測距儀一組ヲ艦橋天蓋上架臺又ハ前記C型銃架ニ装着使用ス
 八水雷兵器

ハ五十三糎發射管六門ヲ左ノ如ク裝備ス

艦首 四門

各舷ニ二門宛船體中心ニ併行ニシテ水平ニ裝備ス

艦尾 二門

各舷ニ一門ツ、船體中心ニ併行ニシテ水平ニ裝備ス

ハ魚雷數

發射管内六個、各發射管ニ對シ豫備一個ツ、及前部發射管室内ニ

二個合計十四個

ハ空氣壓搾唧筒(KSH型二五〇社)ニ臺ヲ補助機械室左舷ニ裝備ス

(三) 氣蓄瓶一號十四個ヲ艦内ニ、八個ヲ上部構造物内ニ、計二十二個ヲ
裝備ス

九水路計器

(イ) 潜望鏡三組ヲ左ノ如ク裝備ス

獨式八米潜望鏡二組ヲ司令塔内ニ裝備シ前部ノモ、ハ昇降臺附

又(但シ當分内昇降臺附潜望鏡ハ七米ノモヲ使用ス)

ケルビン式九米潜望鏡一組ヲ發令所内ニ裝備ス

(ロ) 羅針儀ヲ左ノ如ク裝備ス

1. 加式反映羅針儀一個ヲ艦橋上ニ裝備シ司令塔内ニ反映セシム

2. 潜水艦用ニ號式磁氣羅針儀一個ヲ艦橋上ニ裝着使用ス

3. 安式轉輪羅針儀主羅針儀一個ヲ發令所ニ裝備シ從羅針儀四個ヲ

左ノ如ク裝備ス

艦橋上操舵所 (水密篋入) 一個

司令塔内同上 (艦橋上方位測定兼用) 一個

發令所内同上 一個

後部應急人力縱舵操舵所 一個

伊集院計

計

四個

(ハ) 去式艦底測距儀一個ヲ補助機械室前部右舷ニ裝備ス

(ニ) 安式航跡自畫器受信器一個ヲ司令塔内ニ裝備シ發信器一個ヲ發令所

内ニ裝備ス

ホ「ケルビン」式潜水艦用電動測深儀一個ヲ補助機械室右部右舷ニ

備ス

(十) 電氣兵器

(イ) 推進電動機二基

密閉通風型分捲補極付全力九〇〇馬力ノモノ各一基ヲ電動機室各

舷ニ裝備ス

回轉數範圍毎分最少八五ヨリ最大二二〇ニ至ル

標準電壓 二二〇「ボルト」

定格 一時間半

課電用發電機トシテ使用スル場合

回轉數範圍毎分 二〇〇ヨリ二一五マデ及三〇五ヨリ三六〇マデ

電壓 二四〇乃至三四〇「ボルト」

伊賀三計(17)

伊良子計 (8)

(1) 主電源用二次電池二四〇個ヲ備ヘ之レヲ二群ニ分チ各群一二〇個宛

直列ニ接合シ各列ノ水防區劃ニアル電池室ニ裝備ス

電池型式 四六號型二次電器乙

(2) 補助發電機 二八〇「キロワット」 「チーゼル」發電機一基ヲ裝

備ス

「チーゼル」型式又式二衝型

發電機容量二八〇「キロワット」連續使用

發生電壓二二五—三四〇「ボルト」

回轉數每分四〇〇

(3) 五KV A電球式無線電信電話裝置ヲ司令塔前部無線電信室内ニ裝備

ス

(4) 「フエツセンデン」式水中信號器二個ヲ兵員室前部兩舷ニ各一個宛

裝備ス

(5) 「チューブ」型水中聽音裝置一組ヲ裝備シ「チューブ」ヲ艙上

部構造物上ニ聽音器ヲ無線電信室ニ配ス

(6) 信號用三十種探照燈一個ヲ艦橋上架臺ニ裝着使用ス

伊達守

(七)

主機械ハ貳基ノ直立單働四衝式「チーセル」内火式機械ニシテ之レヲ
並列ニ裝備シ各掛外ニ接手ヲ經テ左右舷二本ノ推進軸ニ連結ス

發動筒數

一〇

回轉數

三九〇 (毎分)

軸馬力

六〇〇〇